

③OB会から保護者の皆さんへ(1)

藤工が有利な理由

就職は安心・安定な生活の基礎になります。
ご覧ください。今年卒業した生徒の就職先です。

就職内定率 100%

日本製鉄(株)関西製鉄所
西日本旅客鉄道(株) 3
パナソニックエナジー(株)守口
住友電気工業(株)大阪製作所
ダイハツ工業(株)本社
(株)ジェイテクト本社
(株)神戸製鋼所古川製鉄所
関西電力(株) 2
三菱ふそうトラック・バス(株)近畿ふそう
(株)エーピーシー・マート
(株)きんでん 7
近畿日本鉄道(株) 6
住友化学(株)大阪工場
NTN(株)金剛製作所
大阪市高速電気軌道(株)(OsakaMetro)
(株)カネカ
(株)アドヴィックス
コスモ石油(株)
近鉄ファシリティーズ(株) 3
UBE(株)堺工場
日本コルマー(株)
大阪ガスネットワーク(株)

(一財)関西電気保安協会 2
(株)栗本鐵工所
(株)ジェイテクトマシンシステム
阪神電気鉄道(株)
大阪トヨタ自動車(株)
トヨタカローラ南海(株)
(株)大阪ガスファシリティーズ
新田ゼラチン(株)
パナソニック EW エンジニアリング(株)
Daigas ガスアンドパワーソリューション(株)
(株)デンロコーポレーション 2
(株)浅野歯車工作所
新日本工機(株)
(株)ファノバ
シャープサポートアンドサービス(株) 2
モリ工業(株) 4
テイカ(株)
パナソニックサイクルテック(株)
寺崎電気産業(株)
シキボウ(株)
太陽日酸エンジニアリング(株) 2
(株)日研工作所
サムテック(株)

(株)アストエンジ
瀬尾高圧工業
南海車両工業(株) 4
(株)ジェイテクトサープレット
中央電設(株) 2
(株)なんつね
大阪モノレール(株)
(株)サンユウ
クボタ機械設計(株)
阪本印刷(株)
関西東芝エンジニアリング(株)
近畿メルテック(株)
テラテック(株)
TONE(株)
能瀬精工(株)
山本化成(株)
(株)いかるが牛乳
太陽食品(株)
大平工業(株)
(株)粉室製作所 羽曳野工場
大光電気(株)
(株)山田製作所
陸上自衛隊 一般曹
大阪府警察

大阪府立藤井寺工科高等学校

これ、本当なんです。藤工のホームページにあるデータですから。数字は人数です。

保護者の皆さんが経験された頃から時代は大きく変化していて、今や数では、大卒の就職者が高卒就職者より多いのです。(文部科学省のHPをご覧くださいとわかります) このように大卒者があふれる時代となった今、大学での就職活動は、3年生からの本人自身の大変な努力が求められるのですが、その一方で、大学の知名度による格差が依然としてあるため、就職活動においては**単に大卒というだけでは、かえって不利になることも現実です。**

本人にとっての合理的な進路の選択となるように、**是非、高校選択の時点**で、しっかりと情報収集をしてください。

藤工OB会では、卒業生という立場で学校の移り変わりを、入学した生徒諸君が卒業するまでの変化として見続けてきています。

藤工は、設立時から受け継がれてきている「求められる人」に育てるといふ姿勢は不易として変わっておらず、その結果として、求人企業から高い評価を受けることにもつながり、就職希望者の内定率が100%という実績を毎年出し続けているのだと言えます。

もちろん、卒業する生徒諸君自身の努力も加わって、見事なほどに社会に順応できる「確かなモノと心を」もって卒業しています。

大阪の高校受験で見えるのは、普通系高校選択が多いという実態ですが、子どもたちは、やがて生活をしていくために必ず働きます。

実業高校卒からの就職は、国公立や有名私立大学の卒業者は別として、その他の大学卒の場合と比べれば、**費やした教育費や時間の点からは、子どもはもちろん、家庭にとっても合理的な選択になると言えることは間違いありません。**

③OB会から保護者の皆さんへ(2) 藤工が有利な理由

保護者の皆さんの中には、普通系高校に比べて、大学進学の道が残されていないのが心配な点だと思う方もいることでしょう。

そこで、藤工の進学実績もご覧ください。

平成29年度の卒業生の中には国立大阪大学理学部に現役合格するという優秀な生徒もいました。

藤井寺工科高校のHPに掲載されている情報

公務員 (2名)	海上自衛隊 一般曹 陸上自衛隊 一般曹
大学・短大 (8名)	近畿大学(理工学部)(指) 阪南大学(国際観光)(指) 四天王寺大学(人文社会)(指) 常磐会学園大学(国際こども教育)(総) 大阪芸術大学(芸術)(指) 大阪芸術大学(芸術)(総) 大阪電気通信大学(情報通信工学)(指) 帝塚山大学(現代生活)(指)
専修・専門学校等 (13名)	OCA大阪デザイン&テクノロジー専門学校(クリエイター科アニメーション専攻)(AO) ホンダテクニカルカレッジ関西(一級自動車整備士科)(AO) 阪和鳳自動車工業専門学校(自動車整備専門科)(AO) 清風情報工科学院(デザイン・コンピュータ学科応用コース)(AO) 西日本ヘアメイクカレッジ(理容科)(AO) 大阪アミューズメントメディア専門学校(ゲームプログラマー学科)(AO) 大阪ダンス・俳優&舞台芸術専門学校(ダンス&アクターズ科)(AO) 大阪航空専門学校(エアポート)(AO) 大阪情報ITクリエイター専門学校(IT系)(AO) 大阪情報ITクリエイター専門学校(情報IT系システム開発コース)(AO) 大阪情報コンピュータ専門学校(情報システム開発学科システムエンジニア専攻)(AO) 大阪情報専門学校(大学併修学科大学システム専攻)(AO) 大阪法律公務員専門学校天王寺校(消防官自衛官警察官2年制)(AO)

(工推)工科高校推薦 (指)指 (公推)公募制推薦 (自推)自己推薦 (総)総 (一般)一般入試 (スポーツ)スポーツ推薦 (フエ)ファミリー入試 (別枠)専門高校・総合学科別枠入試 (AO)AO

推薦入試の制度はご存知だと思いますが、実業高校で頑張った生徒は、その実力での就職を選択するという道のほかに推薦入学の制度での大学進学も可能になっています。

藤工だけでなく、多くの実業高校からは、大学を経て教員として活躍している例も少なくありません。

(国立大阪教育大学へも推薦入学で進学した人もいます)

この実績が示すように、大学への入学チャンスは、藤工生徒にもあるということも知っておいていただけたらと思います。

Kono-tasikanarumono.

この確かなるもの 明日を呼ぶ

電気機器組立て技能士
配電盤・制御盤組立て作業3級

機械加工技能士をめざす

電気工事士をめざす

小型フォークリフト特別教育
84名免許取得(H28年度)

第2種電気工事士

大阪で堂々
No. 1

	平成28年度 合格者 109名	平成27年度 合格者 96名
	(第1種) 合格者 22名	

大阪府立藤井寺工科高校

③OB会から保護者の皆さんへ(3)

実業教育(藤工)こそがSDGs

藤工同窓会として、実業教育こそが話題の(SDGs)持続可能な開発目標の「教育」だという強い思いから、令和4年12月に藤井寺・羽曳野地域のミニコミ誌に投稿いたしました。全文を掲載しますのでご覧ください。

質の高い教育II大学？

SDGs 4「質の高い教育をみんなに」という目標の具体的な達成目標の中に「2030年までにはたらかがいのある人間らしい仕事に就いたり、新しく会社をおこしたりできるような、仕事に関する技術や能力をそなえた若者やおとなをたくさん増やす」というものがあります。これは「誰もが質の高い基礎教育や職業訓練を受けられるようにする」ということです。日本ではすでに公立の実業高校(工業高校等)で実践されていますが、「質の高い教育をみんなに」という部分だけが独り歩きして「大学に行くことが将来の収入を約束して貧困からのがれられる」というようなムード作りにならなく利用されていると云えます。

このことはSDGs 1

「貧困をなくそう」という目標にも大きく関連しています。夢あるキャッチフレーズにせられ「大学進学」の道を選択した結果、年間数百万円もの学費が必要となる自己責任の道に入り込んでしまい、大学卒業後に待っているのは奨学金返済という借金。経済的苦境に追い込まれて貧困の連鎖となるという実例は数え切れません。大卒者全員が高額な収入が得られる職に就けるとは限らないからです。さらに注目すべきはSDGs 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」です。これこそが実業高校が得意とするエリアです。社会インフラの基礎作りと保守の分野で、多くの実業高校卒業生が活躍しています。SDGsの関連で、これからますます必要とされるのです。

大卒資格が働く絶対条件ではない

「大卒資格」が必要な仕事は限られています。更には「大卒資格」があるだけでは医者・教師・弁護士などにはなれないことは周知のことです。日本の法体制では、基本的人権を守る立場から、教育法も整えられていて、高校で必要十分な教育を得られることになっていますから、「高校卒」で十分「足る」のです。古くからの日本の教え「足るを知る」を思い出してください。働くことは、生活を支えるために必要ですが、「大卒」資格は働くための絶対的条件ではありません。これは

多くの実業高校の就職実績がこのことを示しています。進学する高校の選択は、将来の生活や人生に大きく影響します。だから、本人も保護者の皆さんも真剣に考えておられると思います。が、実業高校の同窓会として実社会が直面している課題の多くの根源が「大学進学をどのように捉えるか」にあると考えています。この文章が進路選択の参考になることを願っています。

併せて藤井寺工科高校同窓会HP(明日を呼ぶ藤工進学情報)で検索もご覧ください。

【大阪府立藤井寺工科高等学校 同窓会】

大阪府立藤井寺工科高等学校

③OB会から保護者の皆さんへ(4)

「合理的な高校選択について」

高校選択を考えておられる多くの保護者に知っておいていただきたい事です。

「合理的な教育の方向性」はSDGsに符合します。

「教育は100年の計」ともいわれ「教育は社会を支える重要な要因」だといえます。

我が国の学校教育法には次のことが示されています。>>>**ここがSDGsに符合します。**

第六章 高等学校

第五十条 高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

第五十一条 高等学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。
- 二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。
- 三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。

ここに示された「高度な普通教育及び専門教育を施す」の「及び」は、「又は」ではなく「ならびに」なので、今の高等学校への進学実態に関連する特に普通科系の授業展開内容は、皆さんが実際に経験されてきたように、50条のとおり実施されていないところがあります。

そして、翻れば、我が国の学校教育法は、高等学校で「高度な普通教育及び専門教育を施す」ことで大学等の高等教育を受けなくても立派に社会に貢献できる人材の育成を行うことが示されています。これがSDGsと符合する点です。

しかし、今の進学実態の異常さから見えるのは、高度成長期後の日本社会が長い時間をかけて「高学歴が有利だと思わせる社会作り」の定着を社会全体で行ってきたことに他ならないと言えることです。

社会経済の面から見れば、市民の感情をうまく利用した教育産業がこの流れにのり、継続させるように社会に働きかけてきていると考えられます。その典型が私立大学の増設に現れているとも言えます（大学の設置数を見れば**国公立187校・私立620校**という異常さです。）

令和4年度 文科省 学校基本調査から

種別	高等教育機関の学数			
	国立	公立	私立	計
大学	86	101	620	807
短大	0	14	295	309
高等専門学校	51	3	3	57
専門学校	8	180	2533	2721

国を支える人材の育成に必要な教育法には「高学歴が有利な社会作り」ではなく、「生きる力」をもたせる方向を示していて、**将に今世界中が目標としているSDGsの「教育」そのもの**だとも言うても過言ではありません。

「合理的な教育の方向性」を考えて、高校の選択を。

確かに、様々な面で高度化が進む社会において、専門的知識が必要な職業があって、それに関連する大学を含む高等教育を必要としている部分があります。

優れた（学業で）人は医者、弁護士、教師や上級公務員という職に就くでしょう。

しかし、今の文科省の教育統計データからは、高卒者の進路先として高卒の9割が高
等教育機関へ進学するのです。（**大学・短大・専門学校ほとんどが私立だという事を忘れずに**）。

そして、高等教育の学校を卒業後の職業先は？例えば、職業として医療関係を選んで就職できたのは、医療系大学卒業者の中でも僅かなのです。（統計データから）

現実としては、これほど多くの「高学歴者」がみんな医者、弁護士、教師や上級公務員などになれないのが実態です。

「大学等を出れば将来が約束される」という「幻想」をみんなが持ち続けることこそが「高学歴が有利だと思わせる社会作り」を支えて、継続させることになります。

しかし、現実には

「普通科」→「大学等への進学」→「卒業」→「就職できない非正規労働」という流れを多く作り上げ、この結果に至った多くの人々の「**それまでの教育費と時間**」が失われたままになっているのが大きな問題だと言えます。

これは、「安心して生活ができない社会」を連綿と作り上げていることになります。

つまり「**少子化問題の根源は教育にある**」というのがこの流れから判明します。

.....
今の教育は、あらぬ方向へと進んでいます（世界的にも）

高学歴が個人の幸せを生むと思わせる風潮を作って、教育産業に富をもたらせる一方で、多くの市民には「教育への投資」が必要だと思わせ、教育費が多く必要な私塾への誘導をしながら、一方では「今の公教育では社会的ニーズに合わず、経済的には税金投資の観点からは「費用対効果」で期待できない」ということから、市民を遠ざける様々なムード作りが実（まことし）しやかに行われてきているように思われます。

このことで、何が起こるのでしょうか。

誰もが希望する高校いけるようにすること（社会的ニーズ）は大切な事柄ですが、経済的な理由で国民に必要な教育を受ける権利が保障されることの方が重要な事柄で、公立高校（大学などの高等教育機関も同じ）がそのためにあると言えます。

そもそも、公立の高校は経済的な理由で学べない状況を作り出さないためのものであって、これを選択肢から外して私塾を選択する方向にミスリードしている風潮づくりが問題だと言えることになります。

高校選択で私学を選択する方向を選んだ保護者の多くは、自己責任として教育費を捻出せざるを得ないため、必死で働き、家庭の経済も余裕のない苦しい状況が続くことになっていくことが考えられます。（私学は教育環境保全に資金が必要ですから、多くの教育関係資金提供を求められるのは当然のことと言えます。）

本人である子供も、無事に高学歴の学校を卒業できたとしても、文科省の統計値に表れているように、圧倒的多数の高学歴者がいる中では、単に「大卒」というだけでは社会に受け入れられないという「夢見た進路が現実と違う」ことが高校進学後には気づくことになります。

また、時間的にも精神的にも苦しかったことに耐えた努力と投資は何だったのかと気付かされる人が多く出るとも思われます。

それまでの教育投資を取り戻せないどころか、借金として残った奨学金などの負債を抱えたままとなるため、経済弱者層の仲間入り（経済的弱者の負の面を背負って社会に出た場合、夢ある結婚や出産を望むことは難しい）となることから、社会的にも大きなダメージを与え続けます。つまり、経済格差社会を作り出し続けていくことになって、少子化問題の根源となり続けるとも言えます。

大阪府立藤井寺工科高等学校